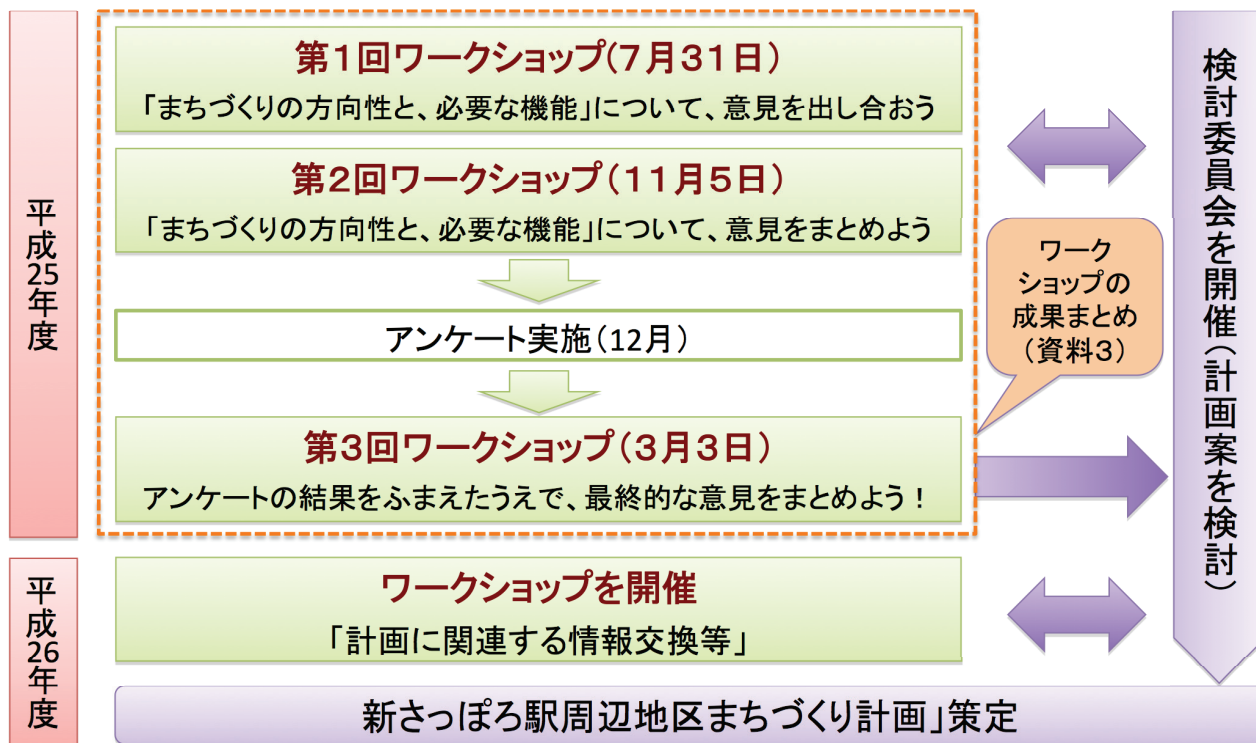


ワークショップの流れ・目的と進め方

目的:新さっぽろ駅周辺地区の今後のまちづくりについての意見交換を行う。
今年度は、おもに「新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能」について検討し、整理する。今年度の成果は、次回の策定委員会に報告する。



第3回ワークショップの目的と進め方

目的:アンケートの結果をふまえたうえで、最終的な意見をまとめよう!

時間	内容
10:00～	開会挨拶(2分)
10:02～	本日の進め方(3分)
10:05～	第2回検討委員会の報告(8分)
10:10～	今後の進め方について(2分)
10:15～	アンケート結果の報告(10分)
10:25～	グループの話し合い(75分)
11:40～	グループの話し合いの発表(10分)
11:50～	まとめ(10分)
12:00	閉会

第2回検討委員会の報告

平成26年2月3日(火)

新たなまちづくり計画の目次について

1 計画策定の背景

2 位置付けと目的

- (1) 目的
- (2) 位置・範囲
- (3) 位置付け
 - ① 札幌市まちづくり戦略ビジョンとは
 - ② 地域交流拠点とは
- (4) 目標年次

3 まちづくりの現状と課題

- (1) 厚別区について
 - (1) -1 人口
 - (1) -2 高齢化・少子化
 - ① コミュニティ
 - ② 保育・教育施設
 - (1) -3 厚別区における市有施設の状況
- (2) 新さっぽろ駅周辺地区
 - (2) -1 主要な施設・機能
 - ① 公的機能
 - ② 商業的機能
 - ③ 医療機能
 - ④ 緑・にぎわいの機能
 - ⑤ 文化・教育的機能

(2) -2 交通機能

- ① 道路網
- ② 公共交通

(2) -3 用途地域等について

- ① エリア内の用途地域
 - ② 建物用途別現況（～近似地区との比較）
- (3) 低炭素化の視点

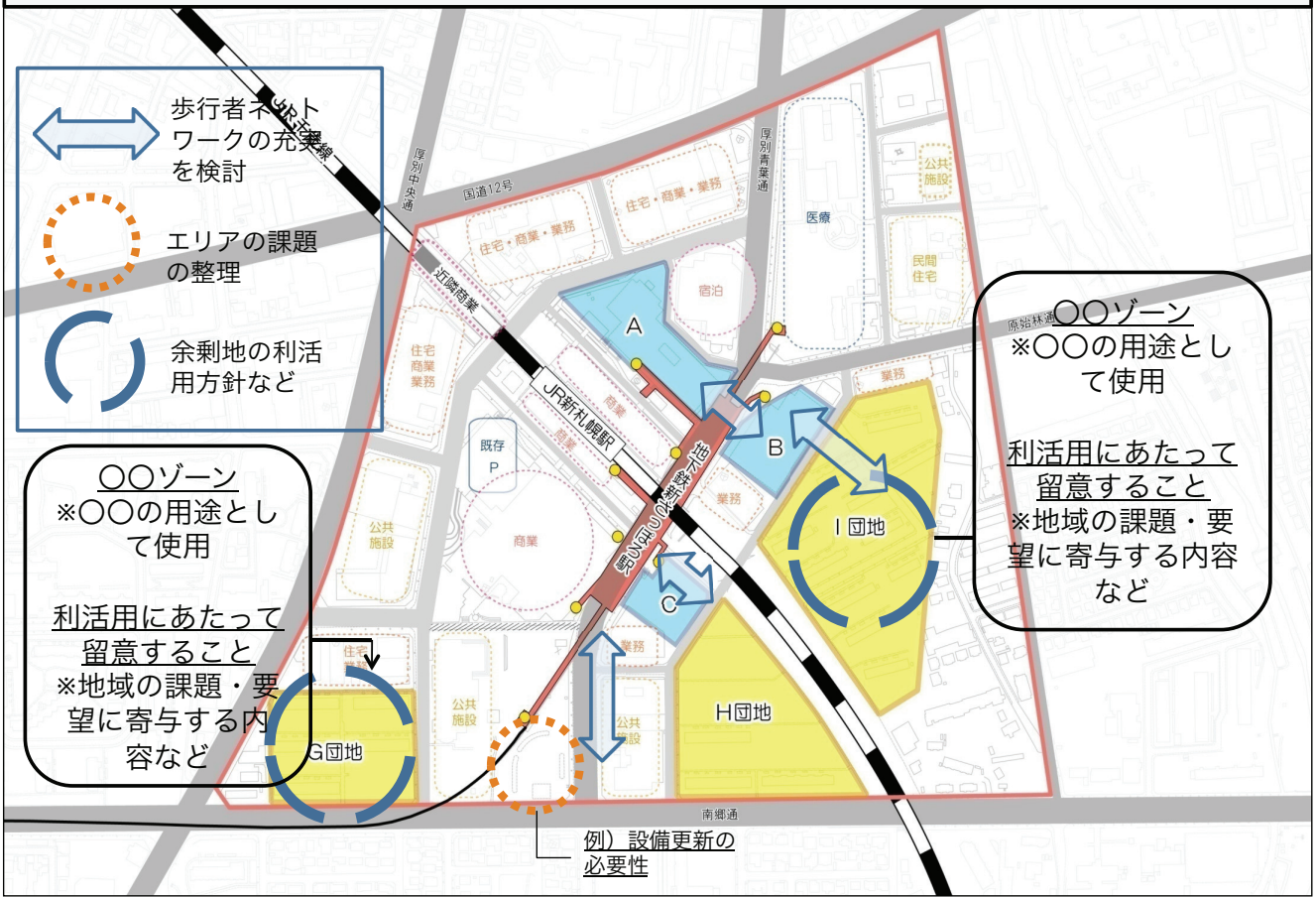
4 まちづくりの整備方針

- (1) 課題解決のための方針（考え方）
- (2) 望まれる余剰地の活用方法
- (3) 歩行者ネットワーク・公的利用
- (4) 環境配慮の視点について
- (5) 利活用に向けた具体的なプログラム

5 事業化に向けた課題

第3回検討委員会にて検討

新さっぽろ駅周辺地区 整備方針図（イメージ）

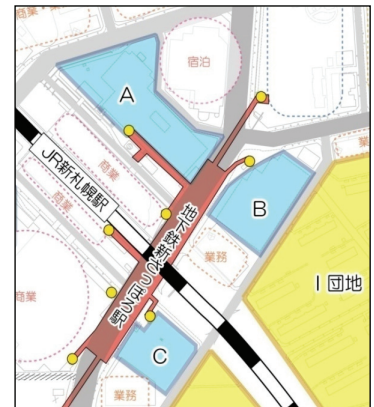


公社暫定駐車場(A・B・C)区域の開発構想について

建築コストの高騰などの理由から

- 劣化対策を要するA駐車場の建て替えを取り止め、解体して平面駐車場化
- B駐車場は現状維持とし、C駐車場区域に前回案とおり複合型福祉施設を配置

※A駐車場を平面化することにより、大規模小売店舗立地法に基づく駐車台数を確保するため



	A駐車場	B駐車場	C駐車場
現状	立体駐車場 (515台)	立体駐車場 (447台)	平面駐車場 (78台)
前回案	立体駐車場 (800~1,000台)	大学キャンパス	業務系テナント・ 複合型福祉施設
修正案	平面駐車場 (約300台)	立体駐車場 (447台)	業務系テナント・ 複合型福祉施設

意見交換の概要

【まちづくり計画全般について】

- 施設などのハード面の整備に加えて、ソフト面（仕組み）をどう組み合わせしていくかも重要。「まち育て」という視点も視野に入れて考えていけたら良い。
- 地域住民のための機能と、周辺市町村にとっての機能と、若い人が求める賑わいの機能等を、バランス良く組み込んでいけたら良い。
- 民間企業の役割と、行政の役割と、共同でできること等を整理していけたら良い。
- 5年や10年ではなく、もっと先を見据えた形で計画を作っていけると良い。

【施設の整備と既存の施設の活用について】

- アンケートの結果を踏まえながら、新たな施設整備だけではなく、既存の施設の有効活用も含めて考える必要がある。
- 「サンピアザ劇場」など、既存施設の知名度向上や利活用の工夫、また「ふれあい広場」を緑地やオープンスペースとして日常的に有効活用していけると良い。
- 青少年科学館や開拓の村・歴史資料館とうまく連携し、全道から修学旅行生などが来て宿泊できるようになれば、まちの賑わいにもつながる。

意見交換の概要

【歩行者ネットワークについて】

- 駅の北側への人の流れ、また目印的な広場を設ける発想から、2階レベルの歩行者ネットワークの充実が必要。

【子育て支援の機能について】

- 子育て支援機能がある方が若者を呼込むことができるので、新規設置が難しくても、余剰空間を間借りする形で設置されると良い。
- 小さな子どもだけでなく、小学生や中学生を育てる視点も重要。地域住民が参加して、日常的に一緒に活動しながら育てていける場所があると良い。
- 今後の女性の社会進出をにらみ、交通結節点に保育施設があると便利ではないか。

【暫定駐車場の開発について】

- 自動車導線などを考え、BとI団地の一体的な開発を検討すべき。また、JR駅と地下鉄駅との歩行者ネットワークの確保も含めて考える必要がある。

今後の進め方について

項目	平成25年度												平成26年度											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
まちづくりワークショップ		●第1回				→	●第2回				→	●第3回				→	●第4回					→	●第5回	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> アンケート調査 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 情報紙とHPによるWS開催情報の提供 </div>																							
まちづくり検討委員会				●第1回			→	●第2回			→	●第3回			→	●第4回			→	●第5回			計画策定	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> まちづくり計画案の作成 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 市役所内検討・調整 パブリックコメントなどの実施 </div>																							

ワークショップ：自由な議論で地域の課題や要望をまとめる

検討委員会：行政的な視点とワークショップでの課題や要望を総合的に検討し、計画本体の骨組みを作る

アンケート結果の報告

目的：ワークショップで検討・整理された「新さっぽろ駅周辺地区のまちづくりの方向性と必要な機能」について、さらに多くの区民の皆さんの意見を把握する

調査期間：平成25年12月6日（金）～12月20日（金）

調査対象者と調査方法：

対象者	方法	配布数	回収数(件)
①18歳以上の厚別区民1,000名 (住民基本台帳から無作為抽出)	返信ハガキを同封の上、郵送	1,000	343 回収率：34.3%
②配架した「ワークショップ通信」からの返信	通信第2号にアンケートと回答用紙(ハガキ)を掲載し、厚別区役所、区民センター、区内まちづくりセンターへ配架		28
③ワークショップ参加者	通信第2号を郵送	35	19 回収率：54.3%
④北星学園大学学生	講義の際にアンケート用紙を配布・回収		149

集計方法：上記①～③の回答を合計して、地域住民の皆さんの意見として集計し、④の学生さんの意見は別途集計しました

質問2)これからの新札幌駅周辺地区に必要な機能(場所やしぐみ)について、下記の1~24の中から、特に重要だと思われるものを3つ選んで、その番号を回答欄にお書き下さい。

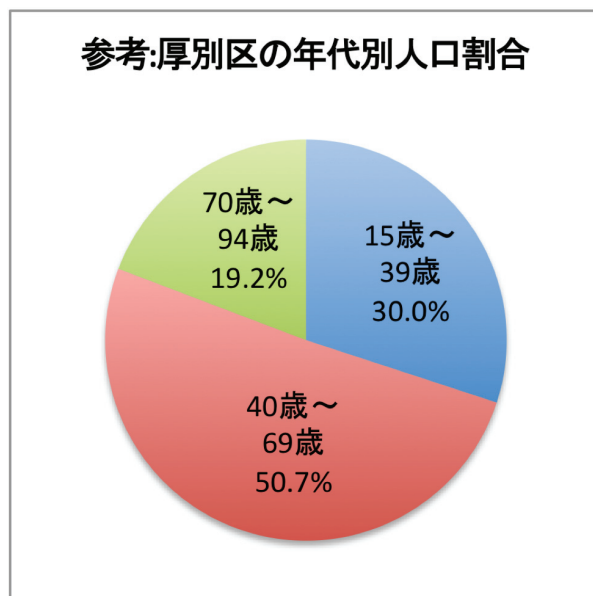
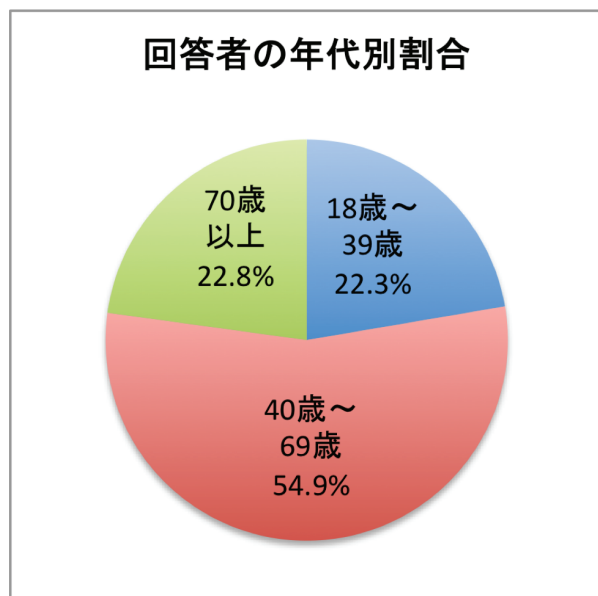
対象者①~③(地域住民の皆さん390名)の集計結果

順位	新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能	件数
1	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	102
2	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしぐみ	96
3	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	89
4	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	79
5	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	77
6	安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実	71
7	「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にする	63
8	誰もが安心して歩けるように、バリアフリー化の充実	52
9	新さっぽろの「まちの顔」となるような、駅につながる広場	51
9	自家用車から公共交通へ乗り換えるための、大きな規模の駐車場	51

対象者①~③(地域住民の皆さん390名)の集計結果

順位	新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能	件数
11	2階レベルで周辺施設をつなぐ、幅の広い歩行者通路	49
12	多くの人を収容できて、多目的に使えるホール	43
12	今ある施設の使いやすさをもっと高めて、文化活動や市民活動に活用する	43
14	「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする	43
15	お年寄りが生きがいをもって活動できる拠点やしぐみ	39
16	お年寄りが気軽に集ってお茶を飲んだり、おしゃべりできるようなスペース	32
17	生涯教育や市民活動促進のためのスペース	28
17	買い物客や観光客にもわかりやすく親切な案内標示	28
19	子ども達がボール遊びをできるような広さの公園	27
20	子育て世帯が入居しやすくなるような、市営住宅のルール作り	24
20	設備のしっかりした、自転車駐輪場	24
22	高校生や大学生のサークルなどの活動拠点や、交流のためのスペース	18
23	学生や若者の住まいの充実	16
24	「ふれあい広場あつべつ」をもっと広くして、使いやすくする	13

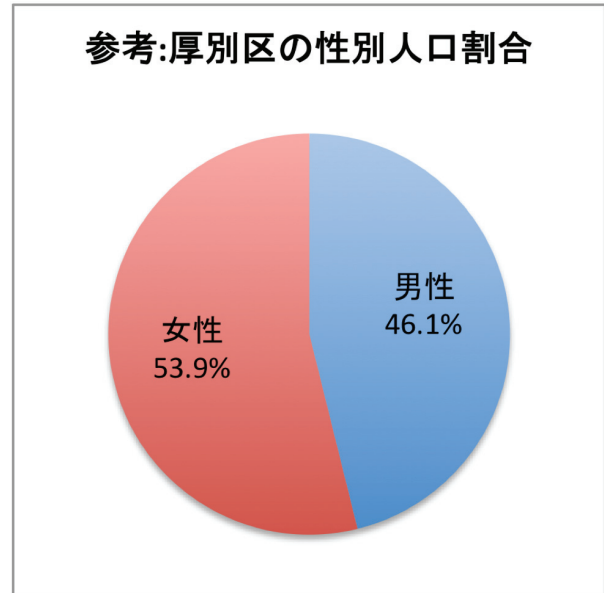
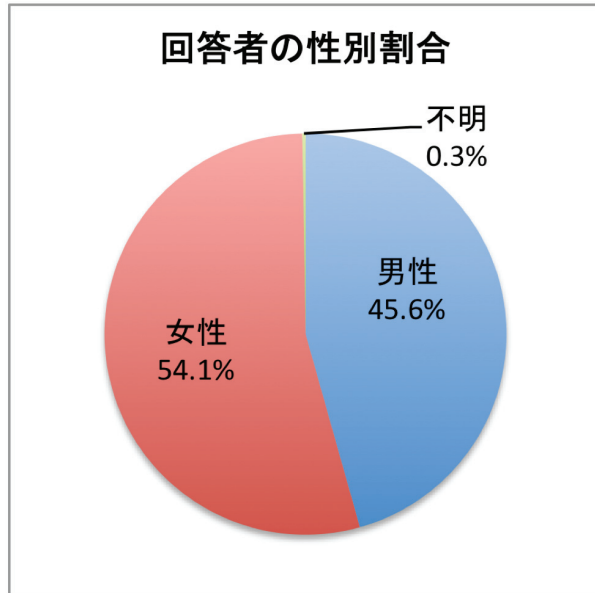
対象者①～③の年代別(18歳～39歳)(40歳～69歳)(70歳以上)の集計結果



※住民基本台帳(H26.1.1)より

年代	順位	上位5項目	件数
18歳～39歳	1	安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実	24
	2	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	23
	3	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	20
	4	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	19
	5	「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にする	17
	5	「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする	17
40歳～69歳	1	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	64
	2	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	63
	3	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	58
	4	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	45
	5	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	44
70歳以上	1	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	24
	2	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	22
	3	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	18
	4	今ある施設の使いやすさをもっと高めて、文化活動や市民活動に活用する	16
	5	安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実	15
	5	お年寄りが気軽に集ってお茶を飲んだり、おしゃべりできるようなスペース	15

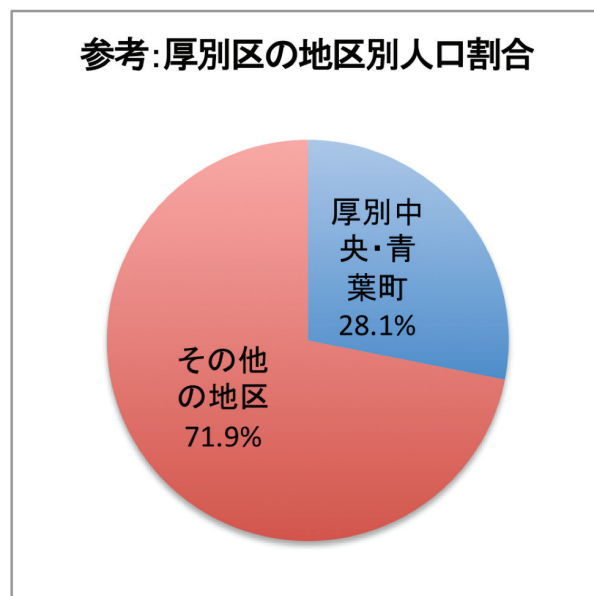
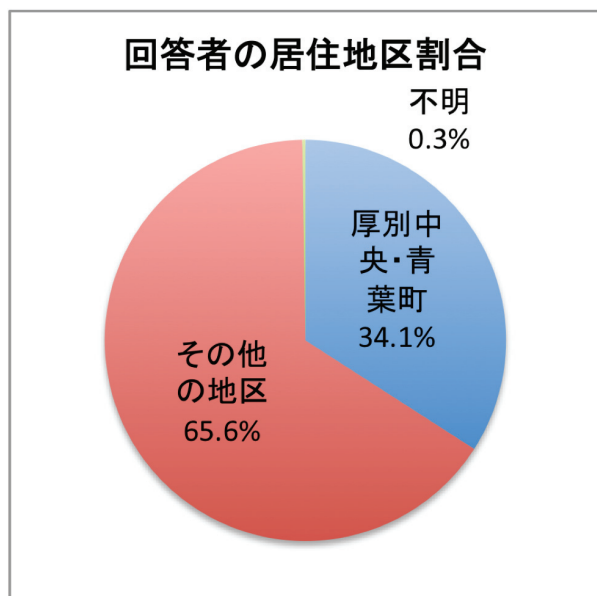
対象者①～③の男女別の集計結果



※住民基本台帳(H26.1.1)より

性別	順位	上位5項目	件数
男性	1	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	48
	2	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	43
	3	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	37
	4	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	37
	5	安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実	33
女性	1	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	59
	2	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	54
	3	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	46
	4	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	45
	5	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	42

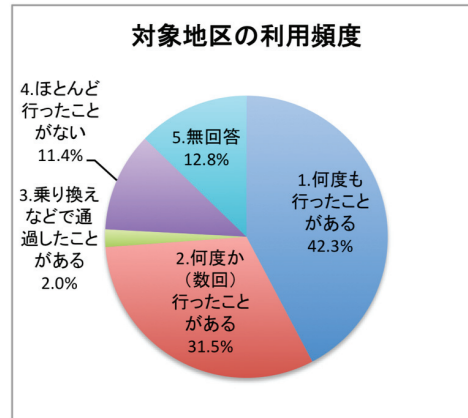
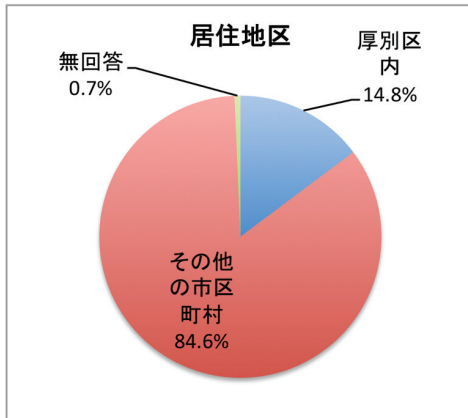
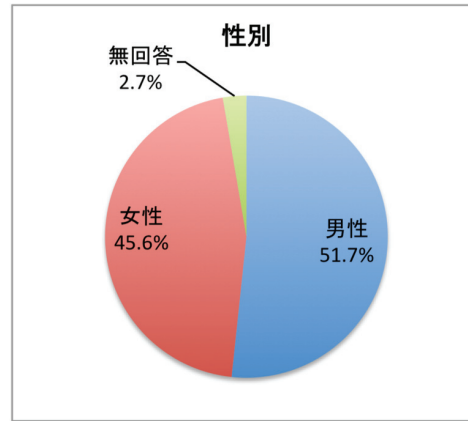
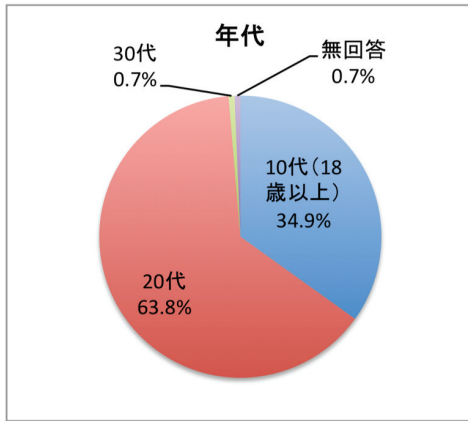
対象者①～③の居住地区別(厚別中央・青葉町)(その他の地区)の集計結果



※住民基本台帳(H26.1.1)より

性別	順位	上位5項目	件数
厚別中央 青葉町	1	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	37
	2	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	33
	3	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	31
	4	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	26
	4	安心して子育てできるように、保育施設や子育て支援の充実	26
その他の 地区	1	医療施設の充実と、医療や福祉の情報を得られるようなしくみ	69
	1	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	69
	3	自家用車で駅へ送迎するための、乗降スペースの確保	59
	4	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	53
	5	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	46

対象者④(北星学園大学学生149名)の集計結果



対象者④(北星学園大学学生149名)の集計結果

順位	新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能	件数
1	くつろぎや出会いの場となるような、緑地スペースやオープンカフェ	40
2	コンサートや演劇が楽しめる文化施設	33
3	学生や若者の住まいの充実	32
3	「新さっぽろの名物」をつくり、観光客も楽しめるまちをアピールする	32
5	子どもからお年寄りまで交流できて、いろいろな世代が利用しやすい施設	25
6	高校生や大学生のサークルなどの活動拠点や、交流のためのスペース	24
7	多くの人を収容できて、多目的に使えるホール	22
8	「青少年科学館」周辺を、さらに充実した子どもの教育のための場にする	18
8	買い物客や観光客にもわかりやすく親切な案内標示	18
10	2階レベルで周辺施設をつなぐ、幅の広い歩行者通路	17
10	誰もが安心して歩けるように、バリアフリー化の充実	17

質問3)上記の「新さっぽろ駅周辺地区に必要な機能」の項目以外に、ご意見がございましたらご自由にお書き下さい。

記入者の合計は203人で、意見ごとに分割すると306件の意見がありました。

- 質問2の24項目以外に必要な機能についての意見(79件)
- 質問2の24の項目に関連する意見(192件)
- その他の意見(35件)

質問2の24項目以外に必要な機能について (同様の内容が5件以上記入されていた意見)	件数
○商業施設の充実	29件
○民間企業よる活性化	9件
○スポーツ施設の充実	9件
○JR新札幌駅の改修	8件
○図書館と学習スペースの充実	6件

資料2:新さっぽろ駅周辺地区まちづくりアンケート結果報告 参照

グループの話し合いの進め方

①「まちづくりの方向性」と「必要な機能」の項目を確認する(5分)

②アンケートの結果を反映して、「必要な機能」の項目を増やしても良いか、検討する(10分)

まちづくりの方向性	必要な機能として増やすことを検討する項目
文化とスポーツの機能が充実した、市民の活動拠点があるまちに	○学習スペースを備えた、広く充実した図書館 ○厚別区体育館を使いやすくするなど、屋内外のスポーツ施設の充実
訪れた人々に親切でわかりやすく、魅力あるまちに	○民間企業の力を活用し、現在不足している店舗や、集客力のある商業施設を充実
駐車場や駐輪場が整備された、公共交通を利用しやすい町に	○JR新札幌駅を、もっと快適で使いやすい場所にする

③「必要な機能」の各項目について、「施設のアイデア」と「仕組みや取組みのアイデア」を出し合う(60分)